

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和2年 2月17日

事業所名: 放課後等デイサービス パウム

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|--|---|------|---------------|-----|--|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 100% | 0% | 0% | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 100% | 0% | 0% | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 29% | 14% | 57% | 現在該当する児童がいない | 借家の為、大掛かりな改修はできない。しかし、必要な際には人力での介助を行い、安全に努める。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 100% | 0% | 0% | 日々職員全体で目標設定と振り返りを行い、改善に努める | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 100% | 0% | 0% | アンケート評価を元に改善できる部分は改善している | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 100% | 0% | 0% | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 29% | 57% | 14% | | 第三者による外部評価ができるよう設置を目指す |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 29% | 71% | 0% | 研修の機会は設けているが、少ない | 外部、内部研修に参加できる機会を増やす。 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 100% | 0% | 0% | 子ども、保護者のニーズ等を職員で十分分析したうえで作成している | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 100% | 0% | 0% | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 100% | 0% | 0% | 指導員がそれぞれ考えた案を更にチームで考え行っている | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 100% | 0% | 0% | 同じ活動名目でも内容を変えたりしながら子どもたちが常に興味を持つものにし、固定化しないようにする。 | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 100% | 0% | 0% | 支援時間や天候、季節に加え、子どもの人数、場所等もふまえて課外活動や体験、学習等設定している | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 100% | 0% | 0% | 体調、学校行事等での疲れの考慮、特性や個々の機能にあった計画を作成している | |
| | 15 | 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 100% | 0% | 0% | 事前打合せとその当日に確認している | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 86% | 14% | 0% | うまくいったこと、行かなかったことを出し、次回につなげるよう話しているが、その日にできない場合は次の日に行う | その日のうちに振り返りや、打合せを行うようにする |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 100% | 0% | 0% | | |
| 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 100% | 0% | 0% | | | |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 100% | 0% | 0% | | | |

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---|---|------|---------------|---|---|------------------------------------|
| 関係機関 や保護者 との連携 関係 | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 100% | 0% | 0% | 現状として、担当者会議等こちらから依頼できる機会が少ない上、こちらから会議をお願いしても担当者の方の日にちが合わないことが多い | |
| | 21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 100% | 0% | 0% | 情報共有は行っている | |
| | 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 29% | 14% | 57% | ケアを必要とする児童がいない | 今後必要なケースが発生した場合は連携して支援を行っていく |
| | 23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 43% | 29% | 29% | 放デイを利用するにあたって、情報共有に努めている | 今後も務めていけるようにする |
| | 24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 29% | 14% | 57% | 該当する児童がいない | 今後に向けて就労施設等の見学を含め準備をしている。 |
| | 25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 57% | 43% | 0% | 定期的ではないが小児科のDr.にお願いして助言をいただいている | 今後、専門機関からの助言や研修をより一層積極的に受けられるようにする |
| | 26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 100% | 0% | 0% | 公園活動等による他児童との交流や、イベント時のきょうだい児との交流ができて、地域の行事等の参加もし交流を深めたい | |
| | 27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 57% | 0% | 43% | | 参加者から全職員への協議会内容を伝達し、協議会についての見識を深める |
| | 28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 100% | 0% | 0% | 連絡帳や電話、必要に応じて自宅訪問し、情報の共有と理解に努める | |
| 29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 100% | 0% | 0% | ペアレントトレーニングに基づいた支援は行っているが、専門的な勉強会に参加したことがない為、今後参加して | | |
| 保護者への 説明責任等 | 30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 86% | 0% | 14% | 契約の時、保護者会の時説明している | |
| | 31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 100% | 0% | 0% | 電話での相談、来所、メール、連絡帳等、窓口を広げ相談しやすい環境作りを行い、必要に応じ訪問や来所いただ | |
| | 32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 43% | 29% | 29% | 父母の会はないが保護者会は年2回できるよう努めている | 今後は父母の会の発足を促していく |
| | 33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 100% | 0% | 0% | | |
| | 34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 100% | 0% | 0% | お便りの発行、ホームページにブログ欄を設けている | |
| | 35 個人情報に十分注意しているか | 100% | 0% | 0% | | |
| | 36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 100% | 0% | 0% | | |
| 37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 14% | 71% | 14% | 地域の児童を招待するイベントは年に1回だけ実施している | 今後はチラシを配布するなど積極的な呼びかけを行う | |

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|---|------|---------------|-----|--|--------------------------------------|
| 非常時等の 対応 | 38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 100% | 0% | 0% | 保護者へは感染症が流行する前にお便りを発行 職員へはマニュアルの熟読を促す | |
| | 39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 86% | 14% | 0% | 3ヶ月に1回の割合で訓練 地震・火事 | 定期的を実施しているが、より多くの場面を想定して続けていく |
| | 40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 100% | 0% | 0% | 研修を設けている | |
| | 41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 29% | 43% | 29% | 身体拘束を伴う支援が必要な児童がいない | 今後そのようなケースが発生する事も想定し、職員研修やミーティング等を行う |
| | 42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 100% | 0% | 0% | おやつ、外食する際アレルギーがある子どもには中身をしっかりとチェックする | |
| | 43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 100% | 0% | 0% | ヒヤリハットの際は細かく確認作業をするミーティングを設け事後確認に努める | |

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。